



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

Future Starts Here 栄小! ~未来はここから~

No.4

R8.5.1

〔児童数〕235名

学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

風薫る五月 ~スタートして1か月~

周囲の木々がいつの間にか新緑に色づき、さわやかな風に揺れています。「風薫る五月」、先月8日にスタートした令和8年度も、はや1ヶ月が経過しようとしています。入学した1年生はもちろん、2~6年生も新しい級友との出会い、そして新しい学習もスタートし、慌ただしくも充実した1か月になったことと思います。

さて、今月は28日(木)に運動会が予定されています。新しい環境に慣れてきた今、児童一人一人が、この運動会に向けた様々な取り組みを通して、心身ともに一回り成長できるよう、働きかけていきたいと思ひます。子供たちの挑戦へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

たくさん見つけたよ! ~2年、春の町たんけん~

28日(火)、昨日の強い雨風も収まり、気持ちのいい晴天の中、2年生が春の町たんけんに出発しました。これまで2年生は、校内で動植物を観察しながら、春の自然の特徴を学習してきました。目的地の公園や道端に咲く花や新緑の木々、そして生き物たちをいくつも発見し、その様子を記録してきました。これまでの経験を踏まえながら季節の移り変わりや自然の変化について気づいたり、考えたりしただけでなく、仲間と協力しながら安全に行動できたことも今回の大きな成果です。さすが2年生、これからの成長が楽しみです。



成長を支える ~子供とのコミュニケーション~

親子のコミュニケーションは、子どもの成長や家族関係における土台となるもので、「安心感」「信頼」「自己肯定感」を育てる重要な役割があるといわれています。学校においては、教師と児童のコミュニケーションと言い換えることができます。

まず、子どもの心の安定です。親(教師)としっかりコミュニケーションが取れている子どもは、「自分は受け入れられている」という感覚をもちやすく、不安やストレスに強くなります。逆に会話が少なかったり否定的なやり取りが多かったりすると、気持ちをうまく表現できなくなることがあります。

次に、自己肯定感の形成です。親(教師)が話をよく聞き、気持ちを尊重することで、子どもは「自分の意見には価値がある」と感じます。これは、将来の人間関係や挑戦する力にもつながります。

さらに、問題行動の予防にも関係します。日頃から会話があると、小さな変化や悩みに気づきやすくなり、大きなトラブルになる前に対応することができます。思春期になるほど、この普段からの関係性が効いてきます。

そして、親(教師)にとってもメリットがあります。子どもの考えや興味を理解しやすくなり、適切なサポートができるようになります。

このゴールデンウィーク、子供たちの成長を共に支える立場として、改めて子供たちとの関わり方を考えてみたいと思ひます。